**資料2-1　令和６年度ユニバーサル都市・福岡　事業の取組状況について**

1ページ目

令和6年度における「ユニバーサル都市・福岡」の推進について

■新規事業の進捗

●ユマニチュード®のさらなる普及促進【福祉局】

・ユマニチュードの市民認知度の向上

市民認知度のさらなる向上を目指し、市内全小学校（4年生）や東・博多・中央区の全公民館での講座を実施。また、テレビやラジオ放送等、様々な媒体を活用した広報を展開。（テレビ：KBCにて8/14～10/30の毎週水曜日、20時54分～、ラジオ：KBCにて8/16～11/1の毎週金曜日20時39分～放送中）

・第６回日本ユマニチュード学会・福岡総会の共催

９月28日、29日に「第６回日本ユマニチュード学会・福岡総会」を同学会と福岡市の共催で開催。講演会をはじめ全国でユマニチュードに取り組む方々の学術発表のほか自治体として唯一の福岡市の取組みを全国に発信。

●地域における障がい者差別解消などの理解を深める取組み【福祉局】

・地域団体（自治会、校区自治協議会など）が実施する研修会や講座などに障がい当事者を講師として派遣し、障がい理解・差別解消を促進。

●道路バリアフリー化の推進【道路下水道局】

・踏切部のバリアフリー化。

・横断歩道部などにおける歩道と車道の段差を解消するため、令和6年度段差のない縁石を設置。

●ベンチプロジェクトの更なる推進【道路下水道局】

・新たな取り組みとして、交差点へのベンチ設置について実証実験を開始。各区1～2交差点を対象に合計25基設置

●車両優先スペースの改修【交通局】

・優先席の対象に、「⼩さなお⼦さま」を追加。

・優先席・優先スペースの壁、床の⾊を⼀般部と区別し優先エリアを⼀般部と明確に区分。

改修対象：R10までに45編成（R6:8編成）

●学びの多様化学校（不登校特例校）整備事業【教育委員会】

・教育課程の検討や生徒募集を行うとともに施設の整備を実施。

・令和７年４月に福岡市教育センター内に開校予定。

●インクルーシブ防災訓練【市民局】

・避難行動要支援者と避難支援実施者の双方が参加し、個別避難計画に基づく安否確認の声掛けや避難所までの避難支援を行う訓練を実施。

●オンライン診療の試行的導入【保健医療局】

・小呂診療所にオンライン診療を試行的に導入し、島民への医療提供体制を強化。

■継続事業の進捗

●ユニバーサル都市・福岡普及啓発事業【総務企画局】

・小学４年生向けの、ユニバーサルデザインを学ぶための教材（H25年度制作）について、時代に見合った内容にアップデートするため、Webサイトを構築。

・ユニバーサルデザインの認知度促進のため、様々な媒体を活用した普及啓発を実施。

●インクルーシブな子ども広場【住宅都市局】

・誰もがお互いを理解し、安心して笑顔で、自分らしく遊ぶことができる「インクルーシブな子ども広場」の整備に向けた取組みを推進。令和６年５月にインクルーシブな子ども広場第1号が百道中央公園にオープン

●ベンチプロジェクトの推進【福祉局・道路下水道局】

・誰もが外出しやすいまちを目指し、市内全域へのベンチ設置を推進

（R5年度末時点ベンチ設置数（累計）549箇所655基）

●ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入促進【住宅都市局】

・高齢者や車いす利用者、来街者など誰もが利用しやすいＵＤタクシーの導入費用の補助を実施（R5年度末：累計427台）

●医療的ケア児の支援【こども未来局】

・医療的ケア児の家族の負担軽減を図るため、自宅等での訪問看護に係る経費等を助成するとともに、市立児童発達支援センターに通う医療的ケア児の送迎をモデル的に実施。

●外国にルーツをもつ児童生徒への日本語教室開催【総務企画局】

・子どもをはじめ在住外国人対象の日本語教室を、地域と連携し開催することにより、在住外国人の日本語能力の向上とともに外国人及び日本人が異文化に対する理解を深め、相互に信頼関係を築くなど、地域における円滑なコミュニケーションの形成を促す。

●⾷のユニバーサル対応推進事業【経済観光文化局】

・訪日外国人の多様な食文化に対応するため、ヴィーガン等対応店舗の充実に向けた国内外への店舗情報のプロモーションを実施。

2ページ目

主なスケジュール

■「ユニバーサル都市・福岡」普及・啓発事業

以下は10月中旬から12月上旬に予定

・冊子、WEBメディアによる広報（シティ情報ふくおか）

・パラアスリートによるトークショー＆卓球体験会※年明けにずれる可能性あり

・六本松蔦屋書店とのタイアップ企画（２週間）

・体験型ワークショップ

・FMラジオ放送による広報（１ヶ月）

■副読本ウェブサイト構築・PDF制作

・9/17第１回改訂委員会

以下は10月下旬から3月末の予定

・第２回改訂委員会

・第３回改訂委員会

・第４回改訂委員会

　3月末完成

■ユマニチュードのさらなる普及促進

・8月から地上波でのミニ番組によるプロモーション

・9/8市民公開講座

・9/28、29日本ユマニチュード学会・福岡総会／市民公開講座

・すべての小学校・すべての校区でのユマニチュード講座

■インクルーシブな子ども広場

・5/31百道中央公園遊具広場の供用開始

・今津運動公園ワークショップ（全４回）

■ベンチプロジェクト

・5/24交差点ベンチ実証実験開始

・10月から利用者アンケート

3ページ目

■公募内容

（１）各年代に応じた普及啓発の取組み

40歳～59歳：年代を意識した効果的な広報の企画・広報物制作

60歳以上：市主催イベントを活用した企画・運営等

（２）パネル展示・体験イベントによる普及啓発の取組み

・パネル展示、体験イベントなど、リアルな場において認知度向上を図る企画

・来場者がデザインの背景を考えたり体験したりできる工夫を含めた企画

■スケジュール

・9/5に提案審査を実施し、ラブエフエム国際放送株式会社が最優秀提案に決定

・今度、実施時期、内容等の詳細について調整

■提案内容の一部

・「シティ情報ふくおか」での特集ページ掲載（50,000部）

・パラアスリート立石アルファ裕一選手によるトークショー＆卓球体験会

・六本松蔦屋書店とのタイアップ企画（店頭でのPRブース設置）

4ページ目

副読本ウェブサイト構築・PDF制作

■公募内容

社会の動きや教育環境の充実を踏まえ、より良い学習環境・教材を児童に提供するため、児童向け副読本ウェブサイト構築及びＰＤＦ制作に向けた提案を公募するもの。

■スケジュール

・8/29に提案審査を実施し、株式会社QTmediaが最優秀提案に決定

・9/17に第1回改訂委員会を開催、改定内容の検討を開始

■提案内容

・メインビジュアル

・メニュー

・まちの中のUDを探検１

・まちの中のUDを探検２

・タイピング機能

・UDクイズ

5ページ目

ユマニチュードのさらなる普及促進

■市民への普及促進・さまざまな媒体によるプロモーション

・9/8市民公開講座～家族が認知症になりましたそこにあったらいいねユマニチュード～

・9/28-29ユマニチュード学会・福岡総会

1. あいれふホール
2. 福岡市立舞鶴小・中学校
3. 福岡市認知症フレンドリーセンター

　9/28　大会長講演　福岡市長　高島宗一郎、9/29市民公開講座　ユマニチュード考案者　イヴ・ジネスト

・テレビ・ラジオによるミニ番組放送

・シティドレッシング

・デジタルサイネージ

・ユマニチュード講座

6ページ目

まちづくりへの認知症デザインの導入

■認知症の人も安心して利用できる。地下鉄橋本駅の「駅前広場」がリニューアル

・5/31から供用開始

・整備のポイント：認知症の人にもやさしいデザインの導入

ポイント１　車道と色のコントラストをつけることにより、歩行者同線を明確化

ポイント２　シェルターや案内版の柱の色を周囲と変えるなど、施設のコントラストをつける

ポイント３　駅舎から各乗降場までシェルター（屋根）を設置し、雨でも濡れない

ポイント４　休憩や乗継ぎ待ちの方のために、ベンチを設置

ポイント５　判断が必要な場所に４か国語表示やピクトグラムを併記したサインを設置するなど、案内サインを充実

7ページ目

インクルーシブな子ども広場／ベンチプロジェクト

■インクルーシブな子ども広場

・5/31から百道中央公園遊具広場の供用開始。９月から今津運動公園のWSを開始(全４回)。

■ベンチプロジェクト

・5/23から、横断距離や信号待ち時間が長い交差点などを対象に、小休憩や荷物置きを目的とした一人掛けベンチを設置し、利用状況や設置場所等に対する市民ニーズを確認中。

8ページ目

その他の活動

■SNSによる情報発信

・「九州通訳・翻訳者・ガイド協会」主催バリアフリー研修

・NPO法人ももち浜ユニバーサルビーチプロジェクト

■出前講座

・福岡市立警固中学校

・福岡市立赤坂小学校

・福岡市立東体育館